

第1回鳥取市市政改革推進市民委員会・議事概要

日時：令和6年5月31日（金） 午後4時00分から午後5時00分

会場：鳥取市役所 本庁舎7階 第1委員会議室

出席者：《委員》10名出席

山下 博樹 委員長、河崎 誠 副委員長、川口 有美子 委員、谷口 明洋 委員、
小松 玲子 委員、土師 佑太 委員、森田 祐加 委員、土橋 勉 委員、小柴 正子 委員、
大久保 英美 委員

《鳥取市》

羽場副市長、竹間総務部長

行財政改革課：宮崎課長、米田参事、若田主幹、山崎主任

会議内容

1. 開会

2. あいさつ

羽場副市長：

鳥取市市政改革推進市民委員会の委員にご就任いただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し1年経過するが、それまでの3年間に本市の保健所が管轄する鳥取県東部の一市四町では約5万8千人が感染され、大変な時期であった。また、昨年8月15日には台風7号が襲来し、川の決壊により国道が崩壊するなど鳥取市始まって以来の被害額となり、今も復旧への努力が続いている。

全国的に自治体では人口減少や人口流出の問題を抱えており、鳥取市も1年間に生まれた子どもの人数が約1,600人いた10年前に比べて、約500人減少している。また、生まれた子どもが大きくなれば、都市部へ出て行ってしまう。それによって地域経済も疲弊する悪循環に陥っている。一方、事業継承など様々な原因によるが企業数も減少しており、なかなかプラスの要素が出てこないのが今の現状である。

そのような状況ではあるが、鳥取市の人口は18万人を超えており、市民が質の高い、満足できる生活をできるようにする事が、我々自治体の責務と考えている。そのために効率的・効果的な政策を考えているが、なかなか知恵が出ない部分もある。

加えて、鳥取市は麒麟のまちとして、因幡と但馬の1市6町による圏域全体の経済発展に向けた取り組みも進めているが、これも、人々の活動エリアといった広い視野での検討していくことが必要である。

皆様の違う視点から、いろんなご意見、ご提言、ご提案をいただきたい。これから2年間よろしく願いしたい。

竹間総務部長：

本委員会へのご出席に感謝を申し上げます。

大変厳しい状況の中で、今年度は、来年度から5年間の鳥取市市政改革プランを策定する。市民が安心して、生き生きと暮らし続けていけるような、鳥取市にしていかなくはないと考えている。皆様のご意見やご提言をいただき、いいプランを策定していきたい。どうぞよろしく願いしたい。

3. 各委員自己紹介

4. 委員長、副委員長の選任

委員長 山下 博樹 委員

副委員長 河崎 誠 委員 を選出

委員長：

委員は9年目になるが、初めて委員となった時は何をする委員会か、なかなか理解できずにいたが、今は委員会の取り組み或いは市の仕事が理解できてきたと感じる。

皆さんにご協力いただき、鳥取市のより改革が進んでいくよう意見を出し合いたい。遠慮なく発言していただきたいと思う。よろしくお願ひしたい。

副委員長：

私も皆さんも今は少し緊張していると思うが、これから会議を重ねる中で鳥取市をよりよくするための考えがたくさん出てくると思う。活発な意見交換をして、鳥取市がさらに良くなるように協力したいと思う。よろしくお願ひしたい。

5. 議事

- ・ 市民委員会の役割と今後のスケジュールについて
- ・ 鳥取市市政改革プラン（第7次行財政改革大綱）及び実施計画について
- ・ 鳥取市市政改革プラン（第8次行財政改革大綱）の策定について

事務局：

（資料1、2を説明。質問等なし。）

6. その他

事務局：

後日、本日の議事概要の確認をさせていただきたい。

A委員：

次回に向けて準備しておくことはないか。

事務局：

次回8月の委員会で皆様に市政改革プラン実施計画の二次評価をしていただくので、本日配布の市政改革プラン実施計画に目を通していただけるとありがたい。

委員長：

ご案内のあった市政改革プラン実施計画は、様々な業務を進める上での市職員の働き方や、効率的な業務の進め方、市民や市内の団体との連携方法等について取り上げ、目的・目標に向けて5年間で進める段取りがまとめられている。委員会の取り組みの基礎となるものでもある。

今回配布分は、これまでの取り組み結果などの詳細は載せていないが、目を通していただくと、次回以降が分かりやすいと思う。

では、以上をもって第1回市民委員会を終わりにしたい。
